

## 第8回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成29年2月21日（火） 午後3時30分～5時20分

会場：青谷町総合支所 第2・3会議室

### 【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、長谷川和郎、濱江康雄、奥谷吉男、鈴木光頼、瀧洋子、津本和美、松岡礼子、長谷川英二

以上10名（敬称略）

### 【欠席委員】

北村佳子、上田洋子

以上2名（敬称略）

### 【事務局】

山本支所長、武田副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、秋田市民福祉課長、山本産業建設課長、中島水道局青谷営業所長、長田地域振興課課長補佐

鈴木農業振興課長、福山農業振興課課長補佐

山根JA鳥取いなば青谷支店長、長谷川JA鳥取いなば畜産課長

### 【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
  - 1) 青谷町いかり原牧場への肥育牛舎等建設計画について
  - 2) 中山間地域買い物福祉サービス支援事業について
  - 3) 青谷町版総合戦略の進捗状況について
  - 4) その他・・・井手ヶ浜写真
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

## ◎議事概要◎

### 青谷町いかり原牧場への肥育牛舎等建設計画について

【事務局】JA鳥取いなばより、平成14年4月に開設された青谷町いかり原牧場敷地内へ400頭規模を収容できる肥育牛舎を建設したいとの申し入れがあり、畜産振興、市有財産の有効活用、雇用創出、施設利用の促進等の観点から、実施に向け条件整備を進める計画です。

【JA】現在の地元説明の状況（対象集落：大坪・山田・早牛）ですが、大坪集落（2/3実施）と山田集落（2/19実施）の臨時総会で説明を行い、大坪集落では汚染対策についての質問があり、堆肥は野積みせず（堆肥舎を設置）、山宮（気高）へ定期的に運搬するとの説明をし、ご理解いただきました。山田集落からは、簡易水道の水源の汚染面の心配や400頭の牛の飼育で使用する水量が多くなることから心配との意見がありましたが、ご理解いただきました。早牛集落については、この2集落の説明や意見も交えながらの説明を予定しています。

【委員1】いかり原は、汚染の関係で放牧の最大が15頭と聞いていたが、400頭でも可能ということで話が進んだ。実際はどのような状況なのか。

【事務局】放牧では15頭ですが、堆肥舎を設置した肥育牛舎での400頭の肥育です。同じ扱いではありませんので、汚染の心配はないと考えています。

【委員2】事業開始後の環境検査の予定はどうか。

【事務局】地元と相談しながら検査対応をしていきたいと考えています。

【委員2】事業を進めるにあたって、環境に配慮したしっかりとした検査をしてほしい。

【事務局】環境面の不安を払しょくする必要があると思っています。

【委員3】400頭の肥育とのことだが、人員配置はどうか。

【事務局】3軒の畜産農家が利用されます。3名程度の雇用が必要だと考えています。

### 中山間地域買い物福祉サービス支援事業について

【事務局】現在実施している移動販売に加え、昼間独居となる高齢者の見守り活動を実施する予定です。週1回程度実施する移動販売の際に、見守り対象者が確認できない場合に月1回程度の戸別訪問を行うという事業です。現在青谷地域では、JA鳥取いなば(株)トスクが事業者となり、移動販売を実施しています。今後のスケジュールですが、区長さんをお願いし、申込書の配布と回収を行い、対象者の確認と事業者との打合せを予定しています。

【委員1】予約販売を兼ねればよいと思うが。

【事務局】事業者の対応となりますが、希望があればそのようなサービスも検討されると思います。

【委員2】申込書の配布と回収だが、対象者等の状況に詳しい民生委員さんがされてはどうか。

【事務局】JAが事業者であるため、個人情報の問題もあることから民生委員さんの関わりについては調整中です。

【委員2】利用が少ない集落は移動販売が中止となったと聞いたが。

【事務局】移動販売の利用者がいない場合でも見守りは実施する計画です。

【委員2】利用者の顔を知らないJA職員（株トスク）もいると思うので、このような課題の解消も検討してほしい。

【委員3】先日の大雪の時、区長と民生委員さんが連絡をとりながら対応していた。同じように協力しながら進めればよい。

### 青谷町版総合戦略の進捗状況について

【事務局】平成28年3月に策定した「青谷町版総合戦略」の主な進捗状況を説明しました。

【委員1】防災無線がデジタル化されたが、冬は窓を閉めているため全く聞こえない。屋外スピーカーから50mしか離れてないのに聞こえない。また、今回の大雪の被害はどうだったのか。

【事務局】屋外での放送とのこともあり、屋内では聞こえづらいですし、屋外でも風向きによっては聞こえないことがあります。音質改善等については業者と話をしているところです。前回の地域振興会議で音声告知端末機器整備の説明をさせていただきましたが、これは集落ごと、地区ごと等で放送が出来ます。導入についての支援を考えているところです。

大雪の被害ですが、ハウス倒壊3棟、倒木による家屋被害1軒、空き家倒壊1軒、窓ガラス破損数件、カーポートの破損等があったことを確認しています。また、果樹等の被害については不明です。

【委員1】高齢者等は屋外ではなく屋内にいる。少しずつでも整備を進めてほしい。

【委員2】今日の11時、Jアラートの試験放送があるとのことで、外で聞いていたが全く聞こえなかった。何の役にたつのか。

【事務局】職員も屋外3ヶ所で確認しましたが、風もあり明確には聞こえませんでした。

【委員2】対策はどうか。再検討をしてほしい。私の集落は放送範囲エリアとエリアの中間に位置しており、全く聞こえない。この点も検討してほしい。

【委員3】今日の試験放送の音量は100%だったのか。

【事務局】設定は100%です。男性の声でした。

【委員3】3億という事業費でデジタル化となった。対策を検討してほしい。

【委員3】進捗状況資料7ページ48、避難行動要支援者支援制度であるが、活用が効果的でないと思う。個人情報の問題があるが、何かあった時、うまく行動できないという懸念がある。

【事務局】この制度は個人情報保護法の適用除外となっており、対象者リストと登録台帳をそれぞれの集落などへ提供しています。

【委員3】以前、情報として出してよいがコピーは駄目だと聞いた。

【事務局】コピーせずに登録の推進をお願いしたいと思います。推進にあたっては、区長さんを中心に役員さんで対応していただいてもよいです。

【委員3】個人情報保護法の対象外なのにコピーは駄目なのか。

【委員2】登録者には、公表に対して了解してもらう必要があるのではないか。

【事務局】対象者リストに掲載する際、事前に了解していただいています。リストに氏名があるということは承諾していただいているということです。

【委員3】よい制度ではあるが、情報が伝わらないと活かされない。問題点を解決し、再度周知してほしい。

【委員3】6ページ41、青谷ようこそ市場（あおいち）へ池田市の業者に参加依頼してみてもどうか。

【事務局】平成29年度以降、池田市に依頼しようと思っています。

## その他

【事務局】報告：井手ヶ浜の海岸浸食の状況について

本年1月～2月の暴風雪の影響で、井手海岸の浸食が一段と進み、ダイキンアレスとの境界まで浸食が迫っています。平成28年度の侵食対策として、市では漁港の浚渫した砂を海上（海岸沖）へ運搬、県では初の試みで勝部川に堆積した砂を事前に試験し、「鳴り砂」と確認した後、井手海岸へ直接養浜しました。県はこの方法で平成29年度も3,500m<sup>3</sup>程度養浜する予定としています。

また、ダイキンの増築工事（3月中旬）に伴い発生する36,000m<sup>3</sup>（予測）の残土については試験を行い、良質な砂と確認されたものは井手海岸に戻すなど、鳴り砂保全の取り組みを実施していきます。